

小田原市教育委員会臨時会会議録

- 1 日時 平成23年8月12日(金)午後7時00分～午後8時25分
場所 小田原市役所 全員協議会室

2 出席した教育委員の氏名

- 1 番委員 山 田 浩 子
2 番委員 前 田 輝 男 (教育長)
3 番委員 桑 原 妙 子 (教育委員長職務代理者)
4 番委員 和 田 重 宏 (教育委員長)
5 番委員 山 口 潤

3 説明等のため出席した教育委員会職員の氏名

- 教育部長 三廻部 洋 子
教育部副部長・教育総務課長事務取扱 佐 藤 富 朗
教育指導課長 西 村 泰 和
指導・相談担当課長・指導係長兼相談係長事務取扱 栞 畑 寿一朗
教育指導課指導主事 菴 原 晃
教育指導課指導主事 大須賀 剛

(事務局)

- 教育総務課副課長・総務係長事務取扱 阿 部 祐 之
教育総務課主任 井 上 晃 輔

4 議事日程

日程第1 議案第24号 平成24年度使用教科用図書の採択について

(教育指導課)

5 議事等の概要

- (1) 委員長開会宣言
- (2) 会議録署名委員の決定…桑原委員、山口委員に決定
- (3) 日程第1 議案第24号 平成24年度使用教科用図書の採択について

(教育指導課)

提案理由説明…教育長、教育指導課長

前田教育長…それでは、議案第24号「平成24年度使用教科用図書の採択について」を御説明申し上げます。小学校の教科用図書につきましては、今年度は採択替えの年ではなく、5月の定例会において議決した「採択方針」のとおり、資料の2ページにありますように、昨年度採択いたしました教科書と同一の教科書を採択することとしております。今回は、既に協議を重ねておりますが、中学校の教科用図書の採択を行うこととなります。今回採択する中学校の教科用図書につきましては、平成27年度まで使用することとなります。細部につきましては、所管から御説明申し上げます。

教育指導課長…それでは、議案第24号「平成24年度使用教科用図書の採択」について御説明申し上げます。

7月25日実施の教育委員会臨時会、及び7月28日実施の定例会において、全ての教科について、2社から3社に絞り込みをしていただきました。この絞り込みのために2日間で4時間以上も協議していただき、本当にありがとうございました。

本日は最終的に、小田原市の生徒に最も相応しい教科書を、教育委員の皆様が、採択権者として各教科1つに絞り、採択の決定をしていただきました。具体的には本日の配布資料の1ページにある、絞り込んだ一覧表の中から、1教科につき1社の教科書を採択していただくこととなります。

なお、小学校の教科書については、昨年度採択替えを行ないましたので、平成24年度は引き続いてその教科書を使うこととなっております。小学校の教科書の一覧につきましては本日の資料の2ページに掲載しておりますのでご確認ください。さらに特別支援学級用の教科書については前回採択していただきましたので今日は資料として配布させていただいておりません。

以上で議案第24号「平成24年度使用教科用図書の採択」についての

説明を終わらせていただきます。それでは、よろしく申し上げます。

和田委員長…それでは、質疑、ご意見等いかがでしょうか。

(質疑・意見等なし)

和田委員長…それでは採決に移りたいと思います。教育指導課長からの説明があったとおり、委員の皆さんには6月以来長期間にわたって、全教科お調べいただき、さらに延べ4時間以上もかけて、7月25日及び28日に教科ごとの協議をしていただきました、本当にお疲れ様でした。本日は、前回までの協議において、各教科2社から3社に絞り込みましたので、その絞り込んだものから、1つずつ採択をしていきます。

では、採択の方法について確認をいたします。私を含めた教育委員全員の、挙手による多数決で決定していきます。お一人1票とし、候補が3社ある場合については、「2票－2票－1票」と、票が割れてしまう場合も考えられます。その場合には、2票ずつ獲得した2つの教科書を、再度皆さんからの挙手を求め、3票以上獲得したものを、採択教科書として決定していきます。

候補が2社からの場合は、どちらかが必ず3票以上となりますから、その3票以上獲得した教科書が採択となります。「絞り込んだ教科書が、それぞれ何票獲得したかを確認する」ために、1番目に挙手を求めた教科書が3票以上の票を獲得して、採択教科書が決まったとしても、2番目以降の教科書についても挙手を求めますのでご了承ください。

①種目 国語

和田委員長…それでは、早速ですが、国語については、前回絞り込んだものは、順不同で申しあげますと、教育出版、光村図書の2社です。委員の皆さんから、特に推す教科書について、意見がある場合はお出してください。

桑原委員…私は光村図書が良いと思います。理由は3つありまして、1つ目は、領域別目次があり、非常に勉強しやすいと思います。2つ目は、巻末に漢字の一覧表があるのですが、光村図書は楷書と行書を並べて示しているのので、

これも勉強がしやすいと思います。3つ目は、執筆者が工藤 直子氏や鎌田 實氏、米倉 斉加年氏など一流の方が多く、米倉 斉加年氏は絵もご自身で描かれており、とても夢があると思いました。

山田委員…私も光村図書が良いと思います。どちらの教科書も良く考えられており、小田原の子どもたちに相応しい教科書だと思いますが、光村図書のほうが教材に魅力的な作品が多く、幅広い領域から選んでいると感じました。また、古典の扱いがとても丁寧な点も評価出来ると思います。

前田教育長…私も光村図書が良いと思います。教育出版も殆ど差がないと思うのですが、光村図書の教科書の場合、「話すこと」、「聞くこと」、「書くこと」の単元で、言語活動の充実が図られるように工夫されています。特に学習の振り返りと生活への生かし方を提示しておりまして、学んだことを将来も含めて生活の中で生かしていくといった点では非常に大事な点だと思います。

また、小学校との繋がりという点では、先ほど桑原委員からもございましたが、1年生の教科書の最初に工藤 直子氏著の「野原はうたう」が載っています。これは小学校で暗記するくらい学習していますので、中1ギャップの解消にも少しは繋がるのではないかと思います。

2年生の教科書には「やさしい日本語」という説明文がありまして、これは8月13日の毎日新聞にも紹介されていたのですが、阪神・淡路大震災の際に、情報を伝える日本語が外国の方には非常に分かりづらいという指摘があり、そのような時に情報を伝えることを目的とした日本語のあり方はどのようなものかということをや旨として述べています。言語の生活化という点で非常に良いと思いました。

また、昔から残っている名作と現代の作家の作品がうまく調和されてバランスが良いと感じています。

和田委員長…では、意見も出尽くしたようなので、採決に入ります。国語科は教育出版、光村図書の2社から、挙手により採択をしていきます。はじめに教育出版に賛成の方の挙手を求めます。

教育出版…1人の委員（山口委員）が挙手

光村図書…4人の委員（山田委員、前田教育長、桑原委員、和田委員長）
が挙手

和田委員長…それでは、国語は4票を獲得した光村図書を採択いたします。

②種目 書写

和田委員長…では次に、書写について採択を行ないます。前回までに絞り込んだものを
順不同で申しますと東京書籍、三省堂、光村図書の3社です。それでは、
委員の皆さんから意見があれば伺いたいと思います。

桑原委員…私は光村図書が良いと思いました。楷書と仮名が分かりやすくしてあるの
と、文字の大きさが他社よりも大きいこと、また、用具の片付け方や正
しい姿勢などの基本の部分がきちんと考えられていると思いました。

前田教育長…光村図書は、他社と違い、1年生から3年生までまとめて1冊になってい
ますが、3年間の学習を見通したり、振り返ったりするには都合が良いの
かなと思います。他社の2冊分を1冊にしているので、多少は厚くなって
いますが、開いてすぐに閉じてしまうようなものではありませんでした。

また、国語が光村図書に採択されました。書写も同じ教科書会社のほう
が望ましいという視点もありますので、国語と同じく、書写も光村図書が
良いと考えます。

山口委員…私は三省堂が良いと思いました。前も言いましたが、「字が上手ではない
人でも、自分の字をもう少し見やすくしよう」という姿勢が良いと思いま
した。

和田委員長…それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので、採決に入ります。書
写は東京書籍、光村図書、三省堂の3社から、挙手により採択をしていき
ます。はじめに東京書籍に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…挙手なし

光村図書…3人の委員（前田教育長、桑原委員、和田委員長）が挙手

三省堂…2人の委員（山田委員、山口委員）が挙手

和田委員長…それでは、書写は3票を獲得した光村図書を採択いたします。

③種目 地理

和田委員長…では次に、地理について採択を行ないます。前回までに絞り込んだものを順不同で申しますと教育出版と帝国書院の2社です。それでは、委員の皆さんから意見がある場合は意見を出してください。

山口委員…私は帝国書院が良いと思ったのですが、一般的には教科書に例えば関東地方や東北地方とか載っている際に、人口・農業・工業などの同じ切り口で、どの地方も載っているのですが、帝国書院は地域ごとに視点が違っていました。北海道だとアイヌなどに関連した歴史的背景、東北では生活と文化、関東だと人口分布や都市の形態などを中心にしており、地域ごとに視点を変えているところが良いと思いました。

前田教育長…私は教育出版が良いと思いました。教育出版は7分野に分けてあり、自学自習がしやすいと思いますし、見開き2ページの「読み解こう」や「トライ！」のコーナーは学習のまとめや発展学習、派生する類似問題や課題への転移学習にも繋がると思います。また、討論などの言語活動を中心とした生徒同士の関わり合い、考えの出し合いなどの力をつける学習に発展出来る内容だと思います。このコーナーは100箇所以上あるのですが、このコーナーに挑戦することでかなりの問題解決能力がつくと考えられます。

また、学習単元の視点が見出し・タイトルに明確に示されており、写真や図版の関連もあり、単元導入に効果的だと思います。

また、前回も言いましたが、小学校からの繋ぎという部分で配慮がなされていると思います。教育出版は小学校で一緒に学んで来たガイド役の4人のキャラクターが、同じ名前でも中学生に成長した姿となって出て来ますので、子どもたちが親近感を持てるのではないかと思います。

最後に、原子力問題に関連した内容も非常に充実していると思います。

和田委員長…それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので、採決に入ります。地理は教育出版、帝国書院の2社から、挙手により採択をしていきます。はじめに教育出版に賛成の方の挙手を求めます。

教育出版…3人の委員（前田教育長、桑原委員、和田委員長）が挙手

帝国書院… 2人の委員（山田委員、山口委員）が挙手

和田委員長…それでは、地理は3票を獲得した教育出版を採択いたします。

④種目 地図

和田委員長…では次に、地図について採択を行いません。地図は東京書籍と帝国書院の2社です。それでは、委員の皆さんから意見がある場合はお出してください。

山口委員…地図は好きで、普段から良く見ているのですが、帝国書院は、縮尺率が見やすいように感じました。また、帝国書院は資料のページが巻末にまとまってありました。残念ながら東京書籍は、たぶん意味があるのだと思いますが、地図と資料が混在している部分と巻末の資料部分の2つに分かれてしまっているの、資料を見るのにページを何回もめくらなければならないところがあり、帝国書院のほうが使いやすく感じました。

前田教育長…私も似ているのですが、帝国書院は資料の統計地図においてイラストや色使いを工夫して、特色を掴みやすいようにしています。また、資料のページに多種多様な地図などが掲載され、発展的学習が出来るように工夫されている点と、A B版ということもあり大きめで、地図そのものがとてもきれいで見やすく、様々な読み取りができるようにも工夫されています。見やすく、使いやすいということで、帝国書院の地図のほうが良いと思います。

和田委員長…それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので、採決に入ります。地図は東京書籍、帝国書院の2社から、挙手により採択をしていきます。はじめに東京書籍に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…挙手なし

帝国書院…5人全員が挙手

和田委員長…それでは、地図は5票を獲得した帝国書院を採択いたします。

⑤種目 歴史

和田委員長…では次に、歴史について採択を行ないます。前回までに絞り込んだものを順不同で申しますと教育出版と帝国書院の2社です。それでは、委員の皆さんから意見がある場合はお出してください。

山田委員…どちらも非常に資料・地図が豊富で充実した教科書であり、見開き2ページで1つの単元になっているので、とても分かりやすく、悩みましたが、教育出版を推したいと思います。その理由としましては、先ほども言いましたが、1つの単元が見開き2ページでなっておりまとめてあるのですが、各時代の特色をととても理解しやすく書いてあり、また、その右端には「トライ」というコーナーが設けられており、内容を整理するのにとても役立つと思いました。

また、「説明しよう、調べてみよう」と、主体的な学習を促している点も評価出来ると思いますし、見開き2ページに年表が必ず配置されており、今どの時代を学んでいるかを把握しながら学ぶことが出来ます。各章の終わりにはまとめがありまして、見開き2ページに世界の動き・日本の動きが分かりやすくまとめられている点が評価出来ると思いました。

前田教育長…私も教育出版が良いと思いました。歴史の流れを理解するには、各時代の特色を捉えることが大変重要でありまして、その特色を生徒が自分なりにまとめて、言葉で表現して、友だちと意見交換しながら再構成するという活動が大事だと思いますが、教育出版の教科書は、山田委員も仰っていましたが、「トライ」で整理・表現するように設定しており、言語活動の充実を図っています。

また、教科書は学習のガイドと学習資料などの役割をしますので、生徒が歴史的事実を追求していく過程で、それを支援していく分かりやすい見出しやタイトルの工夫、また、それに繋がる写真や図版の配慮がなされている点が優れていると思います。

また、前回も言ったのですが、年表がきちんと更新されている教科書とそうでない教科書があります。最新で東日本大震災が記載されているのが教育出版と日本文教出版の2社でした。帝国書院も記載されているのですが、政府が地震発生当初に使っていた東北地方太平洋沖地震という名称でした。その正確性からも、教育出版のほうが良いのではないかと考えます。

和田委員長…私は帝国書院のほうの方が優れていると思いました。「地域調査・まとめ発表マニュアル」は、課題決定から評価まで一連の学習の流れが分かりやすく、生徒たちにとって大変参考になると思いました。ただ、どちらも良かったため、中々決めがたい部分はありました。

和田委員長…それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので、採決に入ります。歴史は教育出版と帝国書院の2社から、挙手により採択していきます。はじめに教育出版に賛成の方の挙手を求めます。

教育出版…3人の委員（山田委員、前田教育長、桑原委員）が挙手
帝国書院…2人の委員（和田委員長、山口委員）が挙手

和田委員長…それでは、歴史は3票を獲得した教育出版を採択いたします。

⑥種目 公民

和田委員長…では次に、公民について採択を行いません。前回までに絞り込んだものを順不同で申しますと東京書籍、教育出版、帝国書院の3社です。それでは、委員の皆さんから意見がある場合はお出してください。

桑原委員…私は東京書籍が良いと思いました。その理由は「暮らしに生きる伝統文化」や「文化の多様性」などの項目が、生徒の共感を呼ぶのではないかなと思いました。また、学ぶ意欲も触発するのではないかなと思いました。

前田教育長…私は教育出版が良いと思いました。教育出版は他社と違い、全部で6章で構成されています。「安心して暮らせる社会」という章を設定して、労働問題や社会保障、現代の日本経済の課題を取り上げています。また、公民の学習目的の捉え方も、「将来一人の市民として生きていく上でとても大切な知識やものの考え方や見方、そして社会へかかわり方を学ぶ」教科であると定義づけていますので、関わる力の育成を重視している小田原の教育と共通な考え方であり、大変評価出来ると思います。

和田委員長…東京書籍は非常にバランス良くテーマを取り上げて説明しており、「共生社会を考えよう」とか「循環社会を実現するために生活のあり方を変えなければならない」というような、現代社会の進むべき道を示している点に

大変共感を覚えました。

教育出版は、「大人になるまでに考えたいこと」などの学習課題が取り上げられており、「勤労について」や、「トライ」で「協働とはどのようなことか」など、現代社会が抱えるテーマに目を向けるというような配慮がされており、これも評価出来ると思いました。

ただ、私は帝国書院が良いと思っていて、この2社の内容をさらに進める形で、「クローズアップ」、「今を聞く」、「今を見る」などにより、より具体的な課題に目を向けられるような配慮がされていると思いました。そのように総合的に見て、帝国書院が良いと思いました。

和田委員長…それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので、採決に入ります。公民は東京書籍、教育出版、帝国書院の3社から、挙手により採択していきます。はじめに東京書籍に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…3人の委員（山田委員、桑原委員、山口委員）が挙手

教育出版…1人の委員（前田教育長）が挙手

帝国書院…1人の委員（和田委員長）が挙手

和田委員長…それでは、公民は3票を獲得した東京書籍を採択いたします。

⑦種目 数学

和田委員長…では次に、数学について採択を行ないます。前回までに絞り込んだものを順不同で申しますと東京書籍、啓林館の2社です。委員の皆さんから意見がある場合は意見を出してください。

山 口 委 員…私は東京書籍が良いと思いました。とてもオールラウンドというか抜けがない教科書だと感じました。ずば抜けて力が入っているわけではないのですが、数学が得意な子どもから得意ではない子どもまで、比較的分かりやすく作られていると感じました。

前田教育長…確かに東京書籍は非常にオールマイティであって、ある意味では完璧だと思うのですが、私は啓林館を推します。数学科において反復・発展・スパイラルな学習活動という点で、数学におけるコミュニケーション能力が一

番大事だと思うのですが、啓林館では数学的な特性をもとに説明し合い、伝え合うことで自分の能力を高めていくという学習活動の配慮が随所に見られていると感じました。

和田委員長…啓林館は全体として数学好きな生徒には申し分ない内容だと思いました。ただ、数学を苦手とする生徒には少しレベルが高いのかなと感じました。算数から数学になるということは、約束事用語が増えていくことだと思うのですが、それを順序立てて整理するには、ノートの使い方がポイントになるということを、私がかつて教員だった頃の経験から思いました。東京書籍は最初にノートの使い方を詳しく分かりやすく説明している点では非常に評価出来ると思いました。同時に、「もっと練習」、「やってみよう」、「数学のまど」、「数学の探究」などを通して発展的な問題にも取り組めるように工夫されていて、数学好きな生徒にとってもこの点は良いのではないかと思います。全体的に比較すると東京書籍が良いのではないかと思います。

和田委員長…それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので、採決に入ります。数学は東京書籍、啓林館の2社から、挙手により採択をしていきます。でははじめに東京書籍に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…3人の委員（山田委員、和田委員長、山口委員）が挙手

啓林館…2人の委員（前田教育長、桑原委員）が挙手

和田委員長…それでは、数学は3票を獲得した東京書籍を採択いたします。

⑧種目 理科

和田委員長…では、理科について採択を行いません。前回までに絞り込んだものは東京書籍、大日本図書、啓林館の3社です。委員の皆さんから意見がある場合はお出してください。

山口委員…大分良くはなっているのでしょうけれども、理科離れということが言われています。私がとても気に入ったのは、大日本図書の单元末にある「学んだことを活かそう」という項目でして、それは何かと言うと、理科を身

近に感じてもらえるように、理科で学んだことを日常生活で活かせるようなテーマがあり、例えば、鏡の授業では「自分の全身が映るのに必要な鏡の長さはどれくらいだろう」ということを求めさせています。他にも「九州で大雨が降っているとした時に、他の色々な状況から、東京で雨が激しく振るのは何日後の何時頃だろう」ということを予測させたりと理科を身近に面白くさせているなど感じました。このようなことから大日本図書を推します。

前田教育長…私も大日本図書が良いと思いました。これからの理科の学習においては、持続可能な社会の構築について考えを深められるようにしていくことがとても大事だと思います。そのような視点で見ると、大日本図書では科学技術の利用と環境保全に関わる内容を取り上げて、問題を解決させていこうと工夫していると感じました。また、人類の文明や社会生活に役立つことの追究など、生徒の研究テーマ設定に向けて、複数の例示をしていることも評価出来ます。

また、思考力・表現力の育成についても大日本図書が評価出来ると思います。観察実験の結果を分析して、考察して、原理や法則を見つけるための場面を設定していることや、結果に基づいて考えるだけでなく、単元の終わりに「学んだことを活かそう」として、自分の考えを人に伝えるという言語活動の充実も図られています。

和田委員長…前回の協議の際には啓林館を推しました。理由としましては、3社とも良く研究され尽くしている教科書だと思いましたが、特に啓林館は、理科の学習ではとても大事なレポートの作成に重点が置かれており、また、「マイノート」というものがありまして、一冊で全体が整理出来るように配慮されていることです。

ただ、啓林館はこの期間に候補として他の委員の方にもよく調べていただきたいという思いであったのですが、この教科書は科学に興味があって、科学的手法をしっかり勉強しようという人にとってはとても良い教科書だと思う反面、少し難しいのかなということも思いまして、より多くの生徒にという視点で総合的に見ると東京書籍かなと思いました。

和田委員長…それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので、採決に入ります。理

科は東京書籍、大日本図書、啓林館の3社から、挙手により採択をさせていただきます。でははじめに東京書籍に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…2人の委員（桑原委員、和田委員長）が挙手

大日本図書…3人の委員（山田委員、前田教育長、山口委員）が挙手

啓林館…挙手なし

和田委員長…それでは、数学は3票を獲得した大日本図書を採択いたします。

⑨種目 音楽一般

和田委員長…では次に、音楽一般について採択を行いません。音楽は教育出版、教育芸術の2社です。委員の皆さんから意見がある場合はお出してください。

桑原委員…私は教育出版が良いと思いました。教育出版のほう为名曲をたくさん取り上げられていることと、神奈川県に関係のある曲が多く、例えば「浜辺の歌」は辻堂海岸で作られたものであったり、「花の街」を作曲した團伊玖磨先生は葉山にお住まいであったり、「夏の思い出」を作った作曲家は横浜にお住まいであったりと、神奈川県が使うのには教育出版のほうが良いと思いました。

また、本日、教員採用試験を受ける生徒が、課題曲が「夏の思い出」になっているということで、レッスンに来ました。その際に教育芸術の教科書を使っていたのですが、音を変えてありました。「夏の思い出」だけ比較しましたら、教育出版のほうも3小節分くらい変えてありました。ピアノの伴奏を生徒が弾きやすいように優しくしてあるのですが、あまりにも教育芸術のほうが元の部分と変えてある部分が多過ぎて、それは著作権にも関わることで、私は教育出版のほうを推します。

山田委員…私も教育出版を推したいと思います。まず、選曲が中学生に知って欲しい日本の良い曲が揃っていると思いました。また、楽典のページが、中学校で覚えるべきものが分かりやすくきちんとまとめられていること、また、ページの左端に学習のめあてが明記されており、何を学ぶべきかが分かりやすい、それから、写真等の色合いが優しく、子どもたちにはとても相応

しい教科書だと思いました。

山口委員…私は専門家ではないので、名曲というものを何だか分からなく、自分が良いなと思った曲は自分にとっては名曲だと思うので、有名な曲や、ずっと昔から歌われている曲でなくても、現在の曲も比較的多く入っていて、学生たちが親しみやすいかなと思ったのが教育芸術でした。

また、目次に「学習の窓口」という部分があったのですが、例えば1曲ずつに、「ここは旋律に気を付けて歌う曲です」などということが書いてあり、目次を見て、「旋律に気を付ける曲」、「リズムに気を付ける曲」などというように、選ぶ際の目安になるかなと思いました。私は教育芸術のほうが使いやすさや親しみやすさを感じました。

前田教育長…私も教育芸術を推したいのですが、鑑賞教材では、曲の良さや、その特徴をプレゼンテーションするなど、言語活動の充実が図られています。「カリブ 夢の旅」や「インディジョーンズ」、「ターミネーター」といった映画音楽など、生徒にとって割と親しみやすい楽曲で、イメージを広げる活動を重視していると感じます。

また、「ソーラン節」や「刈り干し切り歌」など、民謡や伝統文化と体験活動を関連付けて充実させる工夫が見られます。楽典の取り扱いも、ゲーム形式で学習するページを設けたり、「音楽の約束」という表記にしたりするなど、生徒が興味を持って学べるような工夫がなされています。そのような意味でレベルが生徒の実態にあっているのかなと思いますが、教育出版も非常に整っていて、今まで4年間使っているという実績もありますので、楽曲にも抵抗はなくなっていると考えております。迷いましたが、最終的には教育芸術を推します。

和田委員長…それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので、採決に入ります。音楽一般は教育出版、教育芸術の2社から、挙手により採択をしていきます。はじめに、教育出版に賛成の方の挙手を求めます。

教育出版…3人の委員（山田委員、桑原委員、和田委員長）が挙手

教育芸術…2人の委員（前田教育長、山口委員）が挙手

和田委員長…それでは、音楽一般は3票を獲得した教育出版を採択いたします。

⑩種目 音楽器楽

和田委員長…それでは次に、音楽器楽について採択を行いません。器楽も教育出版、教育芸術の2社です。委員の皆さんから意見がある場合はお出してください。

山田委員…私は教育出版が良いと思いました。箏やリコーダーといった色々な楽器が取り上げられていますが、楽器の説明や奏法が具体的に丁寧に記されていて分かりやすく、そのことによって演奏する楽しさを引き出していると思いました。

また、選曲にもとても良い曲が揃っていると思ひまして、興味を持って弾ける曲が多く、曲数も大変多いので良いと思いました。

桑原委員…私も教育出版が良いと思いました。器楽というと難しく感じることも多いと思うのですが、林 英哲氏という太鼓の演奏者の方が「やりたいことをやるのが一番で、熱中することがとても大事だ」というメッセージが初めにあるので、そこで、生徒が弾みをつけて音楽の世界に飛び込むことが出来るのではないかと思いました。器楽だからといって構えないところが大事ななと思いました。

前田教育長…私は教育芸術を良いと思うのですが、創作活動の単元が割と充実していると思います。原曲の旋律からイメージを広げて、自分なりのイメージを音で継承する活動などの工夫があると思います。自分で工夫した奏法をメモしたり、グループで話し合ったりと、言語活動の充実が図られています。

また、単元を比べてみたのですが、ギター単元で教育出版が「リュートのための古風な舞曲とアリアから」から入っており、「エチュード」、「ラ・クンパルシータ」と、取り扱う楽曲がやや高度かなと思われます。教育芸術は生徒が耳に入っている「大きな古時計」から導入して、フォークソングの「カントリーロード」などの親しみやすい曲で構成されています。一概には言えないですが、子どもが親しみやすいのは教育芸術で、少しハイレベルなのは教育出版だと思いました。目指すところはどちらが良いのかと迷っているのですが、教育芸術を推したいと思います。

桑原委員…ちなみにリュートは日本に伝わった時に琵琶になったのですが、リュート

の第一人者の方が横浜で演奏してくださった時に、小学生から高校生ま
で聴いていたのですが、みんな引きつけられて、何日間かずっとその話
題でした。ですので、たまたま身近にないだけで、実際に音を聞くとリ
ュートは非常に心に入って来るものなので、馴染みが出来るほうが良い
と思っています。

和田委員長…それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので、採決に入ります。音
楽器楽は教育出版、教育芸術の2社から、挙手により採択をしていきます。
はじめに、教育出版に賛成の方の挙手を求めます。

教育出版…3人の委員（山田委員、桑原委員、和田委員長）が挙手

教育芸術…2人の委員（前田教育長、山口委員）が挙手

和田委員長…それでは、音楽器楽は3票を獲得した教育出版を採択いたします。

①種目 美術

和田委員長…それでは次に、美術について採択を行ないます。前回までに絞り込んだも
のは開隆堂と光村図書の2社です。委員の皆さんから意見がある場合はお
出してください。

前田教育長…私は光村図書が良いと思うのですが、社会的にも話題となっている環境問
題や貧困、自然災害などの題材や、生徒の日常にあるデザインや情報、空
間の演出などの内容が取り上げられ、美術の学習から社会生活で伸びへと
発展させるような内容が多く提示されていると思います。また、題材の中
にも制作過程が掲載されており、見通しが立てやすいと思います。また図
版が大きく、印刷もとても美しいと思います。身近な生活と伝統文化の観
点から小田原提灯が取り上げられていることも評価出来ますし、キャリア
教育の観点からも、美術士やデザイナー、工芸家、建築家、宮大工などの
社会で活躍している作り手の活動や言葉が随所に紹介されているといた
点で光村図書の内容が充実していると思いました。

山田委員…私は開隆堂が良いと思うのですが、「教科書美術館へようこそ」というタ
イトルにもありますように、優れた面白い芸術作品が多く取り上げられて

いると思いました。また、日本の水墨画や絵巻物など、日本の伝統文化に関する題材がとても豊富に取り上げられており、良いと思いました。

和田委員長…それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので、採決に入ります。美術は開隆堂と光村図書の2社から、挙手により採択をしていきます。はじめに、開隆堂に賛成の方の挙手を求めます。

開隆堂…4人の委員（山田委員、桑原委員、和田委員長、山口委員）が
挙手

光村図書…1人の委員（前田教育長）が挙手

和田委員長…それでは、美術は4票を獲得した開隆堂を採択いたします。

⑫種目 保健体育

和田委員長…では次に、保健体育科について採択を行いません。前回絞り込んだのは東京書籍と学研の2社です。委員の皆さんから意見がある場合はお出しください。

山口委員…先ほどの数学でも言ったのですが、東京書籍はスポーツ部門にしる保健部門にしる、幅広い分野で抜けがないと感じました。東京書籍は中学生で事故が多い原因の1つである自転車の安全に関する決まりがしっかりと載っており、罰則が載っているのも良いと思いました。

また、今は調剤薬局ではないチェーン店の薬局でも簡単に薬が買えるようになりましたが、薬の正しい使い方をしっかり見開き2ページを使っている点も良かったと思いました。

学研も抜けがなく、廃棄物のことなどが載っており、とても良かったのですが、どちらかというと東京書籍のほうが良かったです。

前田教育長…私も東京書籍が良いと思うのですが、今回の学習指導要領の改訂点の1つとして、「体育に関する知識」を「体育理論」と名称変更し、各学年3単位時間以上取り扱うことになりました。体育の授業は3年間で保健と体育各種目含めて315時間と増えているのですが、1,2年生の武道とダンスが必修になったり、保健領域での健康や安全、自然災害などの大事な要素を

含む内容が多くなったりしているため、現場では授業時間の確保が大変であると感じています。そのような状況の中、「体育理論」の時間数も3年間で9時間から12時間確保しなければならないという現実があります。そう考えた時、東京書籍は学研の約2分の1の6ページで内容構成や配列、教育課程の組み方や問題解決型言語活動への配慮など、総合的に優れた編集になっていると感じます。

また、以前も話したのですが、学研は「体育理論」の単元名に学習指導要領に示されている「運動やスポーツ」の表現を全て「スポーツ」で括っています。分からなくはないのですが、少し気になるところです。

和田委員長…私は学研が良いと思いました。「探求」という題材名で「コミュニケーションのツールとしての電話・メールの注意点」、「熱中症」、「スリーアール」、「脳死、臓器移植」というような今の時代を捉えた問題がきちんと扱われている点で、先ほど自転車のことが山口委員からはありましたが、私は学研のほうが優れているように思いました。

和田委員長…それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので、採決に入ります。保健体育は東京書籍、学研の2社から、挙手により採択していきます。はじめに東京書籍に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…3人の委員（前田教育長、桑原委員、山口委員）が挙手
学 研…2人の委員（山田委員、和田委員長）が挙手

和田委員長…それでは、保健体育は3票を獲得した東京書籍を採択いたします。

⑬種目 技術

和田委員長…では次に、技術について採択を行いません。前回絞り込んだのは東京書籍、教育図書、開隆堂の3社です。委員の皆さんから意見がある場合はお出しください。

前田教育長…私は教育図書が良いと思います。今回の技術科の改訂では、体験活動の充実が挙げられていますが、その点で教育図書では生徒たちが作ってみたいと思うような製作題材を多く取り入れて、簡単な題材から製作に入ること

で基礎・基本的な技術が着実に身に付くように工夫されていると感じます。

また、原子力・電力の扱いですが、東京書籍も写真入りの表で特徴と課題を比較した取り扱いをしているのですが、教育図書の内容が充実しているように感じました。原子力発電所の仕組みについて図で解説しており、水力・火力・原子力発電の長所と短所を比較した表があり、充実していると思いました。

山田委員…私は開隆堂が良いと思ったのですが、わくわくするような楽しい教科書だと思います。また、生徒が作りたくなるような実習としてLEDスタンドやスピーカーなどが取り上げられていますし、コンピューターの扱いも充実しており、開隆堂を推したいと思います。

和田委員長…確かに開隆堂は他社に比べてコンピューターについての学習が充実していると思いました。しかし、教育図書は段階を追ってテーマごとに非常に詳しく説明されていて、アイデア作品を作り出す方法を分かりやすく説明している点、また、生物育成では畑を持たなくても出来る色々な栽培法が提示されており、学校の状況に応じて選べるという点が良かったと思います。

また、エネルギー変換でも自然エネルギーが取り上げられており、新エネルギーへ目を向けさせるという提案は今の時期に合ったものではないかと思いました。

東京書籍もロボットコンテストなど、子どもたちが非常に興味を持ちそうなことを見開きで大きく載っており、良いとは思ったのですが、総合的には教育図書が優れていると思いました。

和田委員長…それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので、採決に入ります。技術は東京書籍、教育図書、開隆堂の3社から、挙手により採択していきます。はじめに東京書籍に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…挙手なし

教育図書…4人の委員（前田教育長、桑原委員、和田委員長、山口委員）が挙手

開隆堂…1人の委員（山田委員）が挙手

和田委員長…それでは、技術は4票を獲得した教育図書を採択いたします。

⑭種目 家庭

和田委員長…では次に、家庭科について採択を行ないます。前回絞り込んだのは東京書籍、教育図書、開隆堂の3社です。委員の皆さんから意見がある場合はお出してください。

前田教育長…私は教育図書が良いと思います。技術科と同様に今回の学習指導要領の改訂で、家庭科においてもこれまで以上に実践的・体験的な学習活動が求められています。作業の楽しさや完成の喜びを感じさせるとともに、生徒が自分の日常生活と結びつけて学習出来るように、問題解決的な学習を一層充実させるような組み立てがしてあると感じています。

また、実習での活用のしやすさ、見やすさなどもポイントになると思いますが、それらの観点からも教育図書の教科書は活用しやすいと感じています。伝統文化の観点からも、和服の取り扱いが充実していると感じています。

山田委員…私は東京書籍が良いと思ったのですが、イラストや写真がとても鮮明であることと、社会やニュースの大切さを認識させる工夫があると思いました。また、調理などは東京書籍が一番分かりやすいと思ったのですが、同じページに衛生面の注意や、調理メモなどの色々な情報を載せてありますし、とても手順よく書いてあると思いました。

また、消費生活のトラブルとで、中学生も巻き込まれることがありますので、その具体例も取り上げられており、良いと思いました。

和田委員長…最初は開隆堂が写真の大きさなどのバランスがとても良いと思って推していたのですが、色々と調べてみて、教育図書は節ごとにポイントと「Q」というものが提示されており、「Q」が他社よりも良いヒントが挙げられて具体的であったと思いました。例えば「Aさんの衣服の選択はTPOに合っていますか」というような問いで、解説で「結婚式場でTシャツ姿のAさんの姿」が載っていました。非常に具体的で分かりやすいと思いました。

また、和服についても他社よりも多い種類の和服が紹介されており、生徒の関心や興味をひくのではないかと思います。そのようなことから、

総合的には教育図書が優れていると思いました。

和田委員長…それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので、採決に入ります。家庭科は東京書籍、教育図書、開隆堂の3社から、挙手により採択していきます。はじめに東京書籍に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…1人の委員（山田委員）が挙手

教育図書…4人の委員（前田教育長、桑原委員、和田委員長、山口委員）
が挙手

開隆堂…挙手なし

和田委員長…それでは、技術は4票を獲得した教育図書を採択いたします。

⑮種目 英語

和田委員長…では最後に、英語について採択を行いません。東京書籍、学校図書、三省堂の3社です。委員の皆さんから意見がある場合はお出してください。

桑原委員…私は東京書籍が良いと思ったのですが、その理由としましては、言語活動を繰り返し活用するように作られており、繰り返すことで基礎や基本が身に付くことが良いと思いました。また、応用編の「名作鑑賞」という部分で名作がいくつか取り上げられており、それを英語で身に付けるということも良いと思いましたし、イラストもとても美しく、勉強するのも苦にならないのではないかと思います。

山口委員…私は学校図書と三省堂で迷いました。今も迷っている部分はあるのですが、レッスンごとに覚えていかなければならない基本文があるのですが、その基本文が何かというのが、この2社には目次か、その次のページに「これを習いましょう」ということが出ています。ただ、東京書籍は巻末に基本文のリストが出ているので、目次を見て「何をやるのか」、逆に「これを習ったのはどの单元か」ということを見返す時に、学校図書と三省堂のほうが探しやすかったです。

また、巻末に辞書の替わりになるような部分が少しあるのですが、一般的な辞典は斜めにすると「A」はここ、「B」はここといったように色

が付けてあるのですが、それがしてあるのがやはり学校図書と三省堂でした。東京書籍はページ内には色分けされているのですが、斜めにした時にすぐに探せるようなものではなかったです。また、辞書の部分の作り方ですが、三省堂で生徒の程度に応じて良いと思うのが、1年生の最初の前半くらいまでは、出て来た単語を出て来た順に並べています。その後、レッスン4が終わった時点で辞書の使い方のページがあり、その後に出て来る単語は全てアルファベット順になっていました。これは最初、辞書を使い慣れない生徒のために、最初は出て来た順に単語を並べており、途中から辞書と同じ様な使い方を探せるようになっているのは、生徒のことを考えていると思いました。

一方で基本の文章のまとめについて、東京書籍と学校図書では各学年の後ろに基本文のまとめが出ているのですが、三省堂は3年分をまとめて3年生の教科書の後ろにしか出ていませんでした。その点はどうかと思うので、とても悩んでいます。

前田教育長…私は学校図書が良いと思ったのですが、扱い方がとても丁寧で、レッスンと各コーナーをチャプターにまとめて、各チャプターにあるプロジェクトのページで、生徒の理解や習熟の程度に応じた発展的な学習の内容が取り扱われています。さらにレッスン毎のレビューのページで、話す・聞く・読む・書くなどの基礎技能の活動がバランス良く配置されており、新しい学習指導要領の趣旨の1つであるコミュニケーション能力の基礎を培うように工夫されていると思います。また、小学校の外国語活動との繋がりにも配慮していると思います。

和田委員長…それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので、採決に入ります。英語は東京書籍、学校図書、三省堂の3社から、挙手により採択していきます。はじめに東京書籍に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…2人の委員（山田委員、桑原委員）が挙手

学校図書…2人の委員（前田教育長、和田委員長）が挙手

三省堂…1人の委員（山口委員）が挙手

和田委員長…東京書籍と学校図書が同数でしたので、再度この2社から挙手をさせていただきます。はじめに東京書籍に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…3人の委員（山田委員、桑原委員、和田委員長）が挙手
学校図書…2人の委員（前田教育長、山口委員）が挙手

和田委員長…それでは、英語は3票を獲得した東京書籍を採択いたします。

以上で、中学校全種目の採択が終わりました。

（4）委員長閉会

平成23年9月26日

委 員 長

署名委員（桑原委員）

署名委員（山口委員）